

RUNUP!! FUKUSHIMA

第7号

Tokyo2020 オリンピック
聖火リレーふくしま情報紙

発行日 / 令和3年4月6日

発行元 / 福島県オリンピック・パラリンピック推進室
olipara_suishin@pref.fukushima.lg.jp 024-521-7312

福島県からオリンピック 聖火リレーがスタート！



Photo by Tokyo 2020



オリンピック聖火リレーのグランドスタートが3月25日(木)、福島県の復興のシンボルであるナショナルトレーニングセンターJヴィレッジで行われました。2011年のFIFA女子ワールドカップで優勝したサッカー女子日本代表「なでしこジャパン」のメンバーが第一走者を務め、オリンピック聖火リレーは121日間の旅のスタートを切りました。

聖火リレーのスタートに先立って行われた式典には、橋本聖子東京2020組織委員会会長や丸川珠代東京オリ・パラ担当大臣、小池百合子東京都知事、内堀雅雄福島県知事らが出席。東京2020聖火リレー公式アンバサダーの野村忠宏さんや田口亜希さん、石原さとみさん、そしてサンドウィッチマンのお二人もステージに並びました。福島県オープニングパフォーマンスでは、伝統芸能やフラダンスなどが披露され、これまでのご支援に対する感謝と復興の進む福島を発信しました。

①相馬野馬追(標葉郷騎馬会)による法螺貝の演奏 ②スパリゾートハワイアンズ・ダンシングチーム「フラガール」によるフラダンス ③會津田島太鼓保存会「白鼓」による太鼓演奏 ④県立福島西高等学校デザイン科学科による作品披露 ⑤南相馬市のマーチングバンド「Seeds + (シーズプラス)」による演奏 ⑥郡山市立郡山第五中学校と郡山市立朝日が丘小学校の子どもたちによる「花は咲く」の合唱 ⑦聖火皿に点火する田口亜希さんと石原さとみさん ⑧聖火皿からトーチに火を灯す岩清水選手

1日目 2021年3月25日(木)



聖火リレー初日の3月25日は、東日本大震災と原発事故で大きな被害を受けた浜通り10市町村で実施され、計100人のランナーが走行しました。

①Jヴィレッジ。第一走者からの最初のトーチキス。沿道を県産花きで装飾 ②檜葉町。スタート地点ではならは天神太鼓うしお会による演奏が披露 ③広野町。震災後、未来創造型教育を展開する中高一貫校として整備された県立ふたば未来学園 ④川内村。村ゆかりのランナーの山中力さんがゴールを走行 ⑤いわき市。PRランナーのしずちゃんが地元の子もたちと走行 ⑥富岡町。富岡一中生と中学校前でフォトセッション ⑦葛尾村。 ⑧双葉町。2020年3月に営業再開した双葉駅前を走行 ⑨大熊町。復興公営住宅前で手旗や拍手でランナーを応援 ⑩浪江町。請戸漁港の皆さんによる大漁旗での応援 ⑪南相馬市。最終ランナーの室屋義秀さんが聖火皿に点火し、1日目の聖火リレーが終了した

DAY1 実施市町村



2日目 2021年3月26日(金)

聖火リレー2日目の3月26日は、浜通り・中通り・会津地方を横断し9市町村で実施され、計110人のランナーが走行しました。

①相馬市。出発式後、相馬中村神社をスタート ②飯館村。村の復興拠点「いたて村の道の駅までい館」 ③新地町。釣師防災緑地公園から太平洋を望む ④川俣町。ゴールの山木屋中学校出身の上部星さん ⑤福島市。連続テレビ小説「エール」で、福島市出身の作曲家古関裕而氏の母親役を演じた菊池桃子さん ⑥猪苗代町。町出身のオリンピック・遠藤尚さんと地元スキークラブの子どもたちによるスキーによるリレー ⑦三島町。第一只見川橋梁展望台では只見線を背景にリレー ⑧三島町。マガギの猪俣昭夫さんも走行 ⑨喜多方市。蔵の里前でフォトセッション ⑩会津若松市。市ゆかりの菊池正光さんと大林素子さんのトーチキス



DAY2 実施市町村



3日目 2021年3月27日(土)



県内での聖火リレー最終日となった3月27日は、7市町で実施され、計89人のランナーが走りました。

①南会津町。出発式 ②下郷町。大内宿の街並みを背景に走行するランナー ③白河市。県南9市町村長と公式キャラクターがランナーを出迎え、震災後復旧を成し遂げた小峰城を背景にフォトセッション ④本宮市。ゴールの英国庭園に向かって走るランナーとサポートランナー ⑤須賀川市。1968年メキシコ五輪銀メダリストで円谷幸吉さんと親交のあった君原健二さんを出迎える円谷幸吉さんの兄・喜久造さん ⑥田村市。原発事故の影響で2014年まで避難指示区域だった都路地区を走行 ⑦郡山市。郡山駅前をスタートする箭内道彦さん ⑧郡山市。最終ランナーの千葉麻美さんがセレブレーションに到着し、聖火皿に点火



DAY3 実施市町村

